

No-Dig Award 1987

Award

田 昌弘
TA Masahiro

三和機材(株)
営業本部営業統括部部长



エンバイナー工法は1987年に開発され、同11月に工法研究会を発足、1988年7月には会員13社で協会を設立しました。

当時、塩ビ管は開削工法で使用されており、管強度が小さい塩ビ管の推進は不可能とされていましたが、エンバイナー工法は、排土のためにしか使用されていなかったケーシングを利用して先導管に推力を伝達させ、後続して塩ビ管を引き込むという画期的なアイデアから生まれました。

このように、塩ビ管を一工程の推進工法で埋設する画期的な技術は、国内の下水道関係者を驚かせるばかりでなく、

1988年10月、米国ワシントンDCにおいて開催されたNO-DIG国際会議で、世界で初めて塩ビ管を推進工法で埋設する画期的な技術を開発したとして「非開削技術のノーベル賞」とも言われている「NO-DIG賞」を我国の施工技術として初受賞しました。

現在までの施工実績は累計で約2,900kmに達しています。適用管径は、呼び径φ150～500mmの塩ビ管が可能となっています。

現在、エンビ・ホリゾン推進協会では長距離化、硬質地盤対応のための開発・改良に取り組んでおり、またあわせて協会独自の施工技能認定制度による会員の施工技術の向上に努めています。

今後は、21世紀の下水道事業に貢献すべく、工法の開発・改良と施工技術の向上に挑戦してまいります。

- ・機動建設工業(株)、宮永建設(株)、積水化学工業(株)、シーアイ化成(株)、三和機材(株) 5社共同開発
- ・1992年5月 第3回黒瀬賞 開発5社受賞
(社)日本下水道管渠推進技術協会主催



写真-1 公開発表会

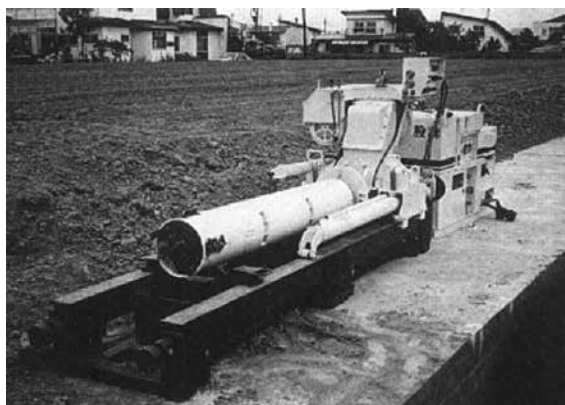


写真-2 北海道での試験施工を控えるエンバイナー SH-305型1号機



写真-3 「NO-DIG'87 AWARD」の盾と受賞模様

